

新年のご挨拶

～表現活動と「個」の成長～

新年明けましておめでとうございます。

設立当初から、人形劇やジャズダンス、タップダンスなどを活動に取り入れ、仲間と共に表現することの楽しさを積み上げてきました。人形劇においては、7人から始まり現在24人が、「集団の中の個」を強く意識しながら自己成長を目指し、評価されることを期待する人に成長しつつあります。

ビッグ・アイアートプロジェクト（国際障害者交流センター主催）において、2年前にはデザイン部門入賞、昨年は950点の中から、書作品部門で2名入賞。1名は柿沼康二審査員賞受賞の快挙を得ました。個々の持つ才能が臆



デザイン部門入賞
「竜のおとこのことおんなのこ」
上西里佳さん作



柿沼康二審査員賞受賞
「宙」(そら)柳井健伸さん作



書作品部門入賞
「花」山口美津子さん作

することなく輝き出しました。

平成27年には糸をかし設立20周年です。新たに音楽やダンス、様々な表現活動に出会い20周年記念行事に向けて、生き生きと今年も弾けます。

(管理者 西口敏江)

～一人ひとりに寄り添った支援を～

平成25年に、お一人が古希を、お二人が還暦を迎え、利用者を中心に盛大なお祝いの会を開かせていただきました。

これまで、みんなが一つになり、同じ目標に向かって進むことを大切にしてきました。活動の場は、社会の縮図として、生きていく自信や頑張ることの大切さを学ぶ場であり、成長の場であったと思います。しかし、最年少18歳から最年長70歳と年齢差も大きく、また24名という人数になり、「みんな一緒」と言うことの難しさも感じています。それぞれの目標や希望は違

います。それに加えて年齢や体力、家族状況など取り巻く環境も様々です。一人ひとりの状況に応じた支援の必要性が年々高くなり、活動メニューもそれに合わせて変えていかなければなりません。

新しい年は、みんなで楽しむ“糸をかし”らしさを大切にしながら、一人ひとりのライフコースに寄り添った支援の両立をより一層進め、高めていきます。皆様の支援とご協力、応援を支えに頑張っていきます。

(主任 前田事成)